

虚空蔵菩薩像 重要文化財

仏教において宇宙と関連づけられている虚空蔵菩薩の像である。「虚空蔵」とは「虚無の入れ物」といったような意味で、すべての衆生の救済者にして子供や旅行者の守護者でもある地蔵菩薩（「大地の入れ物」）とは、はじめは観音菩薩であったようだ。飛鳥時代（552～645年）につくられたこの虚空蔵菩薩は、3層になった蓮の花の台座の上に立ち、顔の表情は精緻に表現されており、衣のひだは細かい彫りで表現されている。